

平成30年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立山川高等学校

1 目的

指宿地域は、農業の生産が盛んであり、農業系学校への進学、関連産業等への就職を目標に野菜・花きの栽培、バイオサツマイモ苗の生産、地域食材を活かした加工品製造や新商品開発の学習活動を展開しているが、入学者数が年々減少している。今年度は日本学校農業クラブ全国大会や創立記念事業、マメ博士の育成プロジェクトも重なり様々な行事を通して多面的に体験をすることができた。講演会やワークショップ、インターンシップを通じて就農希望者を増やすことを目標とした。また、フラワー装飾技能の資格取得を目指しながら、フラワーデザイン関係競技会等への参加にも力を入れた。

2 実施状況

(1) フラワーアレンジメントコンテスト等への出場

南薩地域は、花き類の生産も盛んであり、本校でも花き類およびフラワーデザインの学習にも力を入れている。毎年県代表として全国大会にも出場し、常連校となってきた。



写真1 全国産業フェスタへの出場

(2) よい食・環境県民フォーラムへの参加

今年度は鹿児島市で開催された県民フォーラムへ参加した。県内の高校生を対象とした特産品コンテストや小泉武夫氏による「日本一の発酵王国鹿児島」の講演では山川の鯉節、山川漬の内容もあり、生徒には興味関心の高いフォーラムであった。



写真2 県民フォーラムへの参加

(3) 営農の門出を励ます会の実施

3年生8名中2名は県立農業大学校、1名が農業関係企業への進路であった。当日は、今後の抱負について生徒発表があった。来賓からも励ましの温かい言葉をいただいた。乾杯は、指宿市産の実エンドウ「まめこぞう」を用いたスープで行われ激励をいただいた。



写真3 営農の門出を励ます会

3 今後の課題、取り組み

指宿市の農産物生産の主品目である実エンドウ、ソラマメの栽培を継続し、マメ科野菜についての知識を持たせる。今後、豆腐作りにも取り組んで地域の体験学習で生徒が指導役となれるように知識と技術を身に付けさせる。また、フラワー装飾技能士の取得を目指し、その知識や技術を活かせる進路へとつなげられるように取り組むたい。